

こどもがつどい、 にぎわい奏でるまち 川西に向けて

「こども」と「まちなかプレーヤー」を軸とした第4期計画の展開

2026年7月3日(金)

中心市街地活性化プラットフォーム・オンラインセミナー

兵庫県川西市



川西市ってどんなところ？



人口

151,821人(令和8年3月末現在)

世帯数

72,404世帯(令和8年3月末現在)

面積

53.44平方キロメートル

交通

JR、阪急電鉄、能勢電鉄
阪神高速、名神高速

特産物

いちじく、早生桃、菊炭

その他

三ツ矢サイダー、清和源氏発祥の地

これまでの中心市街地活性化の流れ

第1期基本計画

既存のにぎわい核(川西
能勢口駅周辺)をかえる

第3期基本計画

エリアの回遊性向上と、まちづく
りの「プレーヤー育成」に着手

第2期基本計画

新たなにぎわい核(キセウ
川西地区)をつくる

第4期基本計画

「こどもが育ち、にぎわい息づく
まちなか空間」「まちなかプレー
ヤーとして活躍できるまちなか空
間」の創出を目標に展開

中心市街地における利用者の傾向

🌲 キセラ川西エリア(第2期計画)



利用傾向:

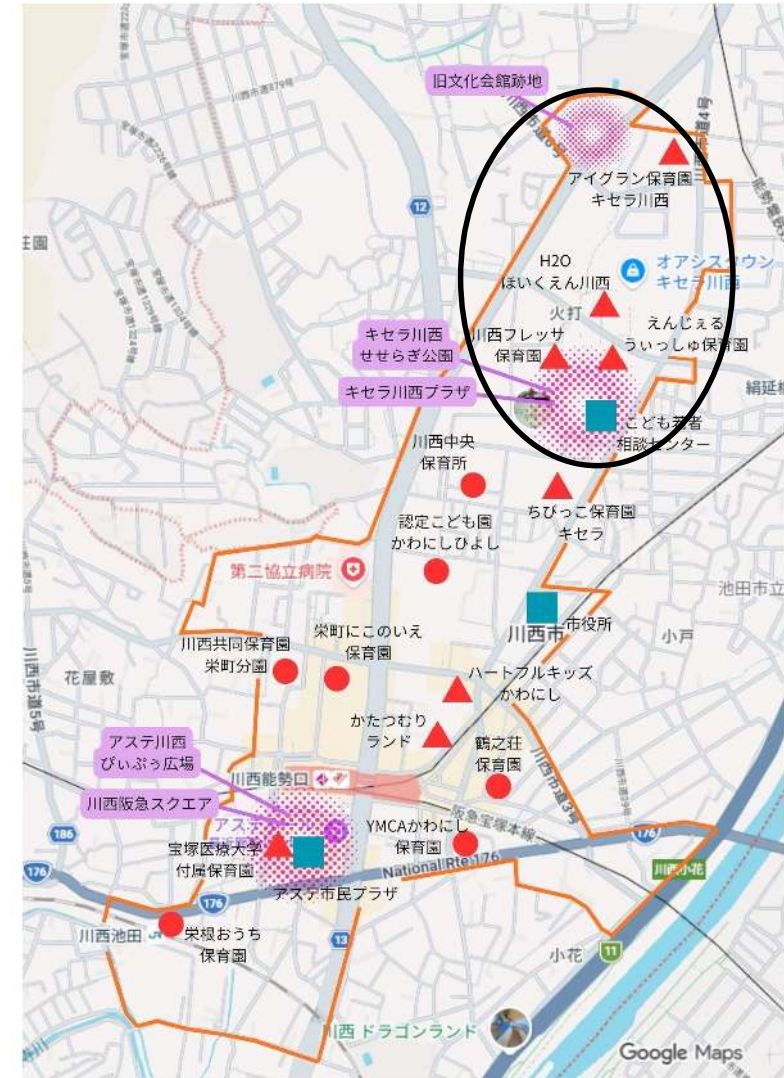
公園隣接の広大な環境を活かした「目的地型」利用が中心。

時間帯・層:

平日の午前中や休日など、未就学児を連れて1日ゆっくと滞在する親子層が多い。

子育て世帯が集う主な拠点:

キセラ川西プラザ(こども若者相談センター含む) / キセラ川西せせらぎ公園など

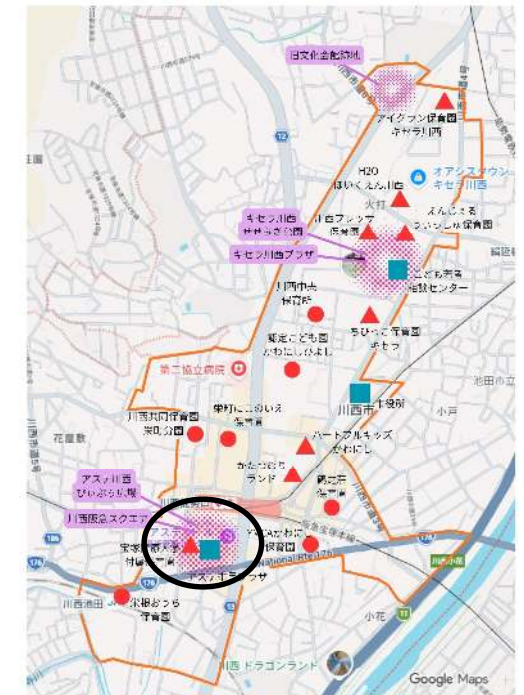


ぴいぷう広場リニューアル(第3期計画)

「通り抜ける広場」から「行きたくなる空間」へ

駅前商業施設 アステ川西内にある『ぴいぷう広場』の空間をリニューアルした結果、まちなかの過ごし方に変化が生まれました。


- ① 子育て世代の来訪増:
日常的な親子の居心地の良い居場所として定着。
- ② 滞在時間の増加:
ただの通過点ではなく、憩いの場として機能。
- ③ イベント利用増:
空間の魅力が増進し、まちなかプレーヤーによる活用が広がっています。




アステ川西 複数店舗で売上増加

ぴいぷう広場のリニューアルは、行政の施策にとどまらず民間への波及効果を明確に生み出しています。アステ川西が計画的テナント入替えによるフロアリニューアルを実施している中、ぴいぷう広場のリニューアルもその後押しとなり、より効果的な施設のにぎわいが創出され、総じてテナント売上が2桁の伸びとなる結果につながっています。

第4期基本計画の柱:「まちなかプレーヤー」の育成(第3期計画~)

 **イベント主催者 / 出店者** 主体的に企画を立ち上げ、集客と交流を生み出す仕掛け人。エリアの価値を高める魅力的なコンテンツや商品を提供する。

 **商業者** 地域に根ざしたビジネスを展開し、日常的なにぎわいと経済循環の基盤を支える重要なステークホルダー。

 **若者 / ビジネスパーソン** 地域の課題解決や、新しい文化・コミュニティを創出する原動力。若者の柔軟な発想がまちに新しい風を吹き込む。

プレーヤーが活躍・交流する活動拠点

第4期計画
目標指数
歩行者・自転車
通行量



○ ペDESTリアンデッキの利活用

駅前の公共空間をイベントやマルシェの舞台として開放し、日常的な歩行空間を「にぎわいの場」へ転換。

- ☑ デッキ活用回数: R6 26回 → R7 43回
- ☑ 活用民間事業者: R6 6者 → R7 9者

第4期計画
目標指数
歩行者・自転車
通行量



○ 藤ノ木さんかく広場

登録キッチンカーによる営業や、地域企業によるイベントの利用があり、新たにキッチンカーで起業する市民のスタートも支援。

- ☑ 出店店舗数: R6 30店舗 → R7 33店舗
- ☑ イベント開催数: R6 10回 → R7 16回

プレーヤーが活躍・交流する活動拠点

第4期計画
目標指数
新規
開業者数



○ LOCAL BUSINESS HUB かわにし
全10回の講座を通して講師からビジネスアイデアやマインドセットを学び、会社員や起業家、地域で活躍する人などが学び合う。

☑ 参加人数: **R7 109人**

男性50.9% 女性49.1%
～35歳 38.4% / 36～50歳 46.1% / 51～ 15.5%

☑ LBHがきっかけで新しいことを始めた人: **75%**

<その他関連事業>

- 中心市街地空き店舗等出店事業
- 中心市街地起業家支援事業
- コワーキングスペース連携起業家支援事業



第4期計画
目標指数
マチノマ
利用者数



○ まちなか交流拠点マチノマ

中心市街地のにぎわいづくりの拠点として交流と情報発信を行う施設。起業やエリア内での活動に関するサポートも。

☑ 来室者数: R6 3,905人 → **R7 4,451人**

☑ 活用回数: R6 233回 → **R7 279回**

<その他関連事業>

- 川西市中心市街地活性化協議会運営事業
→ タウンマネージャー(九鬼氏)を中心に、まちづくりのプレーヤーの発掘や活動支援を行う。

なぜ「こども」なのか？

川西市こども・若者参加条例の制定（令和7年4月1日施行）

血 こども・若者参加条例の制定

こども・若者があらゆる場で安心して意見を表明することができ、まちづくりなどに参加する機会が保障されるまちをめざしたもの。

育ち学ぶ施設、保護者、団体、市民の方々などと協力し、こども・若者の意見表明の機会やまちづくりなどに参加する機会を保障する取り組みを進めています。



👏 若者主体の実践の場

こども・若者参加条例の周知イベントとして、こどもや若者が自ら企画・運営するイベント「川西もりあげ どすこいまつり」がアステ川西のぴいぷう広場で開催されるなど、中心市街地エリアの様々な空間が多様な主体によって活用されています。



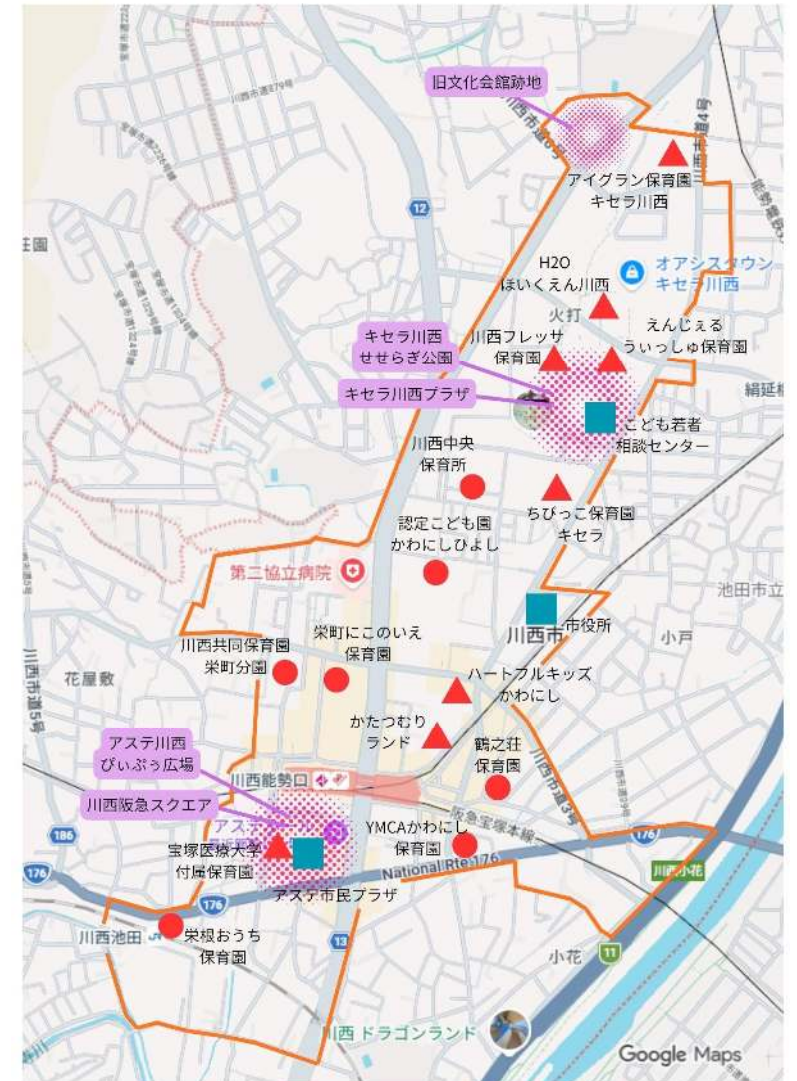
なぜ「こども」なのか？ ～周辺環境と拠点～

中心市街地には子育て世帯向けの商業施設や保育園等の子育て支援施設が集積しており、エリア全体が強固な子育て環境を形成し、子育て世帯の日常的な動線がまちの活気に直結しています。

- ・ **アステ川西 ぴいぷう広場**
駅直結の利便性を活かした、日常的な子育て支援と交流の結節点。
- ・ **川西阪急スクエア**
ファミリー層の回遊や滞在を促す重要な商業機能拠点。
- ・ **こども若者相談センター**
妊娠期や子育て中の親子、若者が対象の相談支援施設。
- ・ **キセラ川西せせらぎ公園**
こどもが遊べる遊具があり、大規模イベントの開催ができる公園。

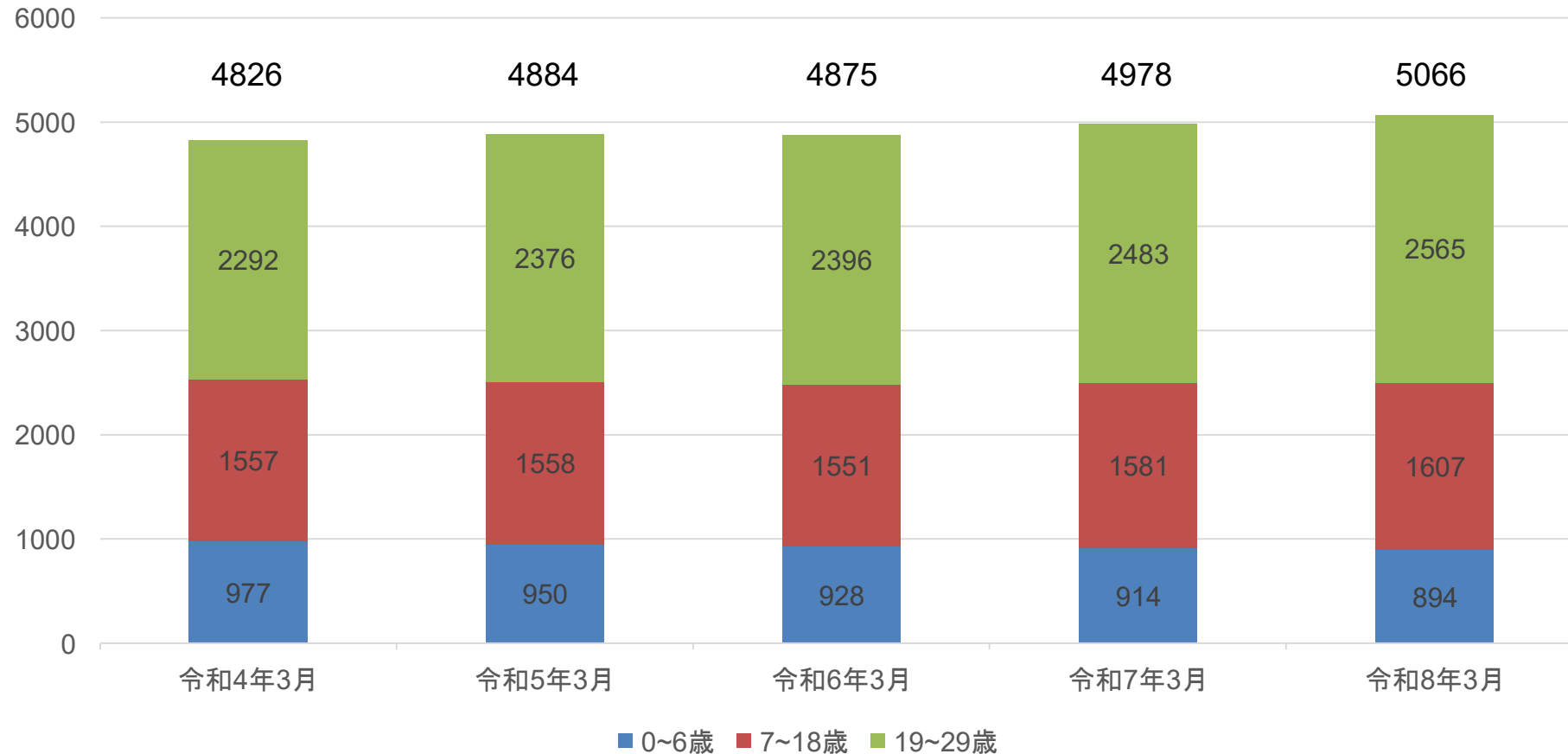
中心市街地における保育施設

15 箇所（うち認可保育施設7・認可外8）



なぜ「こども」なのか？ ～周辺環境と拠点～

中心市街地エリア周辺地域を含むこども・若者の人数の推移



第4期基本計画の柱:「こども」が集うまちなかの実現

第4期計画
目標指数
居住人口の
社会増

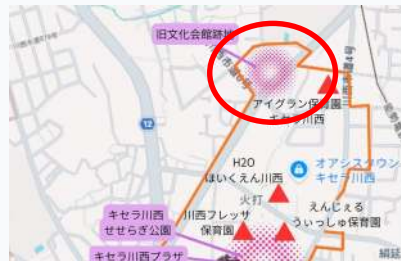
第4期計画
参考指標

子育て世代の人口
(49歳以下の人口)

血 旧文化会館跡地整備事業

令和6年8月～10月にサウンディング型市場調査、市民アンケートを行い、同エリアを「子育て・にぎわいエリア」と位置づけ、子育て世帯が安心して暮らせる環境整備とともに、地域のにぎわいの創出をめざし、令和6年12月から事業提案募集を実施し、事業者を選定。

交流、ワクワク、健幸魅力発信をめざします。また、地域の交流の場、にぎわいの場を創出し、それらを繋ぐ架け橋としての仕掛けや機能を創出していきます。



👏 こども・若者向けワークショップの開催

川西市のにぎわいに興味のある学生等向けに、ワークショップを開催。「かわにしのまちに何があったらよいか?」「ペDESTリアンデッキで楽しく過ごすためにはどうしたらよいか?」などを意見交換。

今後もワークショップなどを実施し、様々な意見やアイデアを聞きながら今後の計画等にも取り入れていきます。



<その他関連事業>

○ 川西音楽祭、川西フェスタ、0歳から楽しめる親子のための舞台芸術、あつまれ!!げんキッズ、3on3 in KAWANISHI、スポーツの日記念イベント

今後の課題



1. こどものにぎわいをどう継続するか 空間リニューアルによる一時的なブームで終わらせず、中長期的に日常の風景として定着させるための仕掛けや仕組みづくりについて。



2. プレーヤーをどう育てるか 現在の中心メンバーだけでなく、次世代の主役となる新たなプレーヤーを継続的に呼び込み、育成していくスキームの構築について。

ご清聴ありがとうございました

